

第 54 回電子情報化委員会 議事録

日時：2013 年 3 月 26 日（火）15:00～18:00

場所：JCI 12F 会議室

出席者：中村委員長，八十島幹事，浅本，甲斐，坂下，舌間，高橋，田所，吉岡の各委員
（事務局）井上，戸口，（オブザーバー）中村

資料

54-0：電子情報化委員会（第 54 回）議事次第

54-1：第 53 回電子情報化委員会議事録（案）

54-2：Confit（コンフィット）のご紹介

54-3：年次論文集 CD の HTML 化に対する問題

54-4：会員専用ページの利用者数

54-5：JCI メールニュースのフォーマット

54-6：平成 24 年度第 1 回広報普及委員会議事録（案）

54-7：平成 24 年度電子情報化委員会の事業報告

54-8：試験配信サービスの概要（案）講習会オンデマンド配信サービス

議事に先立ち，新規委員の坂下委員，年次大会実行委員の中村先生から自己紹介が行われた。

議事

1. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料 54-1）
第 53 回議事録（案）の内容が確認された。
2. 次年度年次大会の企画説明（株式会社アトラス，資料 54-2）
株式会社アトラスより，年次大会の論文公開に関するシステム Confit の説明が行われた。
 - ・ 投稿査読システム（Editorial Manager）からのデータを使って Web，モバイル，CD を作成するため，新たなデータ作成や編集作業を行わずに年次大会論文公開システムを構築できる。また，スケジュール登録やお気に入り登録などの付加機能があり，年次大会参加者の利便性が向上する可能性がある。費用はこれまでよりも 150 万円程度安くなる見通しである。
 - ・ 年次大会に参加したい方は，アカウント（ID はメールアドレス）を作成することができ，スケジュール管理や「Good!」機能を利用できる。ただし，登録されたアカウントは JCI 事務局では管理できない。
 - ・ 年次大会の Web ページ編集を随時行えるだけでなく，検索機能のある HTML 形式により CD も作成でき，CD 作成期日はギリギリまで変更可能である。
 - ・ 「Good!」機能はリアルタイム表示可能であるが，カウント数によるソート機能はできない（今後追加する予定）。また，座長や運営に対する評価機能も追加可能である。
 - ・ 次回の委員会において，JPBS とアトラスの両社による運用ベースのプレゼンを実施する。

3. 年次大会関連（事務局，資料 54-3）

八十島幹事より，年次論文集 CD の HTML デモ版およびその問題点についての説明があった。

- ・ 冊子版プログラムを pdf ファイルとして CD に載せるのは，日程の都合により掲載できない。
- ・ 分野 1 号・2 号は，「材料・施工」，「構造・設計」の説明を追記し，各分野の一覧を表示させて論文へのクリック数を減らす。
- ・ 年次論文集の CiNii への掲載が正式に締結され，これから掲載準備作業に入る。
- ・ 年次論文集の冊子版は，梅原先生からの寄贈によって必要数が満たされる予定である。ただし，梅原先生所有の冊子の箱詰めについては，アルバイト学生による補助を必要とする。
- ・ 来年度の論文ファイル容量は，1.2M バイトから 2.0M バイト程度に大きくしても問題はない。

4. メールニュース登録者数および会員専用ページ利用数の確認（事務局，八十島幹事，資料 54-4）

- ・ 現状のメールニュース登録者数 6654 名（会員 2111 名，非会員 4543 名）で，前回委員会時から 250 名程度の増加である。
- ・ 会員専用ページ利用者数は 2567 名で，前回委員会のときから 650 名程度の増加である。
- ・ 会費請求書に同封した会員情報登録の確認によって会員のメールアドレスを取得し，メールニュースのサーバーに一括登録する予定である。

5. 会員専用ページ

- ・ 専門家向けコンテンツの開設については，広報普及委員会の了承が得られ，明日の理事会にて報告する予定である。なお，開設方法や準備に関して，浅本先生にも担当してもらうことになった。→理事会にて了承は得られたが，コンテンツの継続的更新の対応方法について質問を受けた。→JCI ホームページ WG において議論し，対応方法について検討する。
- ・ 団体会員に対しても会員専用ページの認証パスワードを発行し，事務局にて管理する方法とする。

6. 動画配信（資料 54-8）

事務局より，講習会オンデマンド配信サービスについての説明があった。

- ・ 技術講習会を対象として，JCI 本部にて動画配信サービスを利用したサテライト形式による受講を行う。また，受講者のアフターケアとしてこの配信サービスを活用する。導入メリットの検証として，受講者の反応をみるためにアンケートを行う予定である。アンケート内容や実施方法について，本委員会でサポートする（担当：田嶋委員）。
- ・ 特別委員会の中間報告が動画配信され，同時に動画公開に関するアンケートを行っている。メールニュースにて，動画配信が開始されことをアナウンスするとともに，アンケートへのご協力をお願いする。
- ・ 東日本大震災に関する特別委員会報告会の動画配信について，特別委員会へ打診する。
→ 三橋先生から了解が得られた。撮影する報告会は 4 月 24 日の東京会場（品川）。
- ・ 今後，年次大会や委員会等の報告会を撮影する機会が増えると思われるため，撮影に必要な機材等を選定し，費用等を含めて購入するかどうか検討する。
- ・ 動画配信に関するポリシーについての提案書を作成する。（担当：田嶋委員）

7. メールニュース（高橋委員，資料 54-5）

高橋委員より，メールニュースのフォーマット改善についての説明があった。

- ・ メールニュースのフォーマットを改善し，募集案内などの会告を簡略化した。4月と5月のメールニュースは，高橋委員が担当する。
- ・ 今後のメールニュース担当は，6月・7月：八十島幹事，8月・9月：坂下委員の順とする。

8. その他（甲斐委員，資料 54-6）

甲斐委員より，広報普及委員会議事録（案）についての説明があった。

- ・ 会員獲得に向けたコンテンツの作成や更新方法，ホームページのあり方や意義に関する議論および検討をすべきである。
- ・ 中村委員長から次期委員長として甲斐先生が推薦された。次回委員会にて引継ぎを行う。

9. 次回日程

- ・ 2013年6月28日（金）15：30から，JCI 会議室にて実施する。
- ・ JPBS とアトラスの両社による年次大会関連システムについてのプレゼンを行う。

以上